

今年もあとわずかになりました。無事に今年を終え、さわやかな新年を迎えたいですね。

本会としては、自分電気作りが各地で好評を博し、引っ張りだこの年になりました。来年は、市民共同おひさま発電所作りを、本格的に進めたいと考えています。新年もよろしくお願いします。

環境教育報告

今年は学校法人蛍池学園 蛍池文化幼稚園で行ないました

大阪府に報告が義務づけられている第2回目の環境教育は、豊中市の環境政策課から3人の応援を受け、協働で実施することができ、少し広がりを感じました。内容は以下の通りです。

1. 日時 2018年10月18日(木)

午前10時～10時半

2. 対象 蛍池文化幼稚園 5歳児 64人

3. 目標

「おひさまとなかまたち」の紙芝居を通して、太陽や風、水などの力で電気がつくられることを学ぶ。
また蛍池学園あつぶるこども園には太陽光発電所を設置し、おひさまの力で電気を作っていることを知る。



4. 授業の流れ

- ① 紙芝居「おひさまとなかまたち」
- ② 豊中市民エネルギーの会からはソーラーヘリコプター、ファンで動く起き上りこぼし、を提示、説明
- ③ 市の環境政策課は手回し発電機の動かし方を説明、全員が体験できるよう準備した。
- ④ 園児は3グループに分かれ手回し発電を体験し、さらに多人数で接続された手回し発電にも挑戦した。

5. こどもたちの反応について

紙芝居の中で、台風の影響で停電した話になると多くの子から手が上がり、「真っ暗になった」「電気がつかなくて暗くて困った」「冷蔵庫がつかえなかった」など自分の体験を話してくれたので、電気の重要性はわかったように思う。

また手回し発電は、個人の体験は簡単だっ

たが多人数でやるのは同じ方向に回すというのが難しかったし、園児の力では回すのも大変だった。

※担任の聞き取りで分かったこと

- ・水分補給をするときに、窓際に水筒を置いており、水筒があったかくなっていることに気づきどうしてかと聞くと、「おひさまがあたっているから」と答えてくれた。
- ・日向ぼっこをするといい気持ちになるのは太陽さんのお陰。
- ・自分たちで電気をおこすことが楽しくて、太陽の力だけで風車やヘリコプターが動くのが楽しかった。

6. 先生の感想（※今後の参考にします。）

- ・太陽について考えることがなかったのでよい機会になりました、太陽の力で電気がつくことを知ったので「雨の日にはてるてる坊主をつくらないといけないね」という言葉が聞こえてきました。
- ・紙芝居はストーリー性のようなものの方がこどもたちにとって理解しやすいのでは。
- ・実際に外に出て太陽の働きを見てもよかったと思いました、などでした。

※豊中市環境政策課からの3人の応援のみなさまに心からのお礼を申し上げます。（衛藤）



手回し発電機に挑戦中

第10回「市民・地域共同発電所全国フォーラム」in飯田に参加して

10月5～7日に長野県飯田市で開かれたフォーラムに参加しました。1日目は基調講演とパネルディスカッション及びポスターセッション、2日目は4つの分科会、3日目はフィールドワークでした。

パネルディスカッションの一番手は飯田市長。飯田市は市民共同発電所の先進地域で、「通称：地域環境権条例」を制定して、自然エネルギーと持続可能な地域づくりを結び付けて積極的な助成を行っています。山間地域で保育所の幼児が3人から1人に減りいよいよ閉園かというときに、職員にアイデアを募り、地域住民が助成を受けて190kWの小水力発電所を立ち上げ、今や幼児6人に増えた事例が報告されました。

フィールドワークで訪れた山本地区では、地域住民が廃校になった学校の保存活動を行い、国登録有形文化財に登録され、助成により28kWの太陽光発電所を設置し、校庭には見事な桜が咲いて観光客が訪れ、映画「母と暮らせば」のロケ地にもなり、フジバカマの花にはアサギマダラが乱舞していました。

分科会「地域再エネ事業を支える仕組み」では、RE100：再生可能エネルギー100%を目指すことを宣言した世界や日本の企業、代表的な国や都市の紹介がありました。日本の再生エネルギー事業でトラブルが起こるのは、2012年固定価格買取制度（FIT）が始まって以来、大資本が参入して、地域との合意形成が出来ていない例が多いという話もありました。

別の分科会「多様にひろがる生協の再エネ事業」では、日本生協連が「コープSDGs行動宣言」を採択して、気候変動及び国連のSDGs（持続可能な開発目標）時代に対応するための行動計画を策定し、そのために発電事業で2030年300MWを目指している。また組合員168万人・161店舗を抱えるコープこうべは環境チャレンジ目標「エコチャレ2030」を掲げ、CO₂半減、食品廃棄物半減、エコファームでの体験事業やソーラーシェアリング（営農優先の太陽光発電）、昨年春に始めた電力事業などの取り組みを報告しました。

（浦野）

子どもたちでにぎわった「環境展」2018

“みんなでつくろう 環境のまち・豊中”をテーマに毎年この時期に豊島体育館で開催されている「環境展」に今年も出展しました（11月16日と17日）。

「手回し発電機で電球を点けてみよう」と「ヘリコプターを動かそう」の体験コーナーでは、「しんどかったけど、なんとかつけた」「ヘリコプターが太陽光パネルで動いてびっくりした」などの声がありました。

これは、1日目に近隣の小学校の5校の4年生が授業の一環で見学に来て、“発電の学習”をしてその時の気持ちを一言感想に書いてくれたものです。

2日目は、土曜日で親子連れが多く、手回し発電やLED電球クイズを楽しんで体験している姿が見られました。また、中学生くらいの女子グループが真剣な顔で聞き入っていました。

展示コーナーは、「あっぷるおひさま発電所」の横断幕がドーンと真中で、「自分電気を作ろう」の作り方とそれを紹介した新聞記事、私たちの会の「SUNSUN通信」など掲示しました。展示では、最近会で購入した“防水発電所”を披露し、無料充電をアピールしました。（北尾）



今後の予定

- ・ 1月21日（月）午前10時～13時
ECOカフェ（同封のチラシ参照）
- ・ 2月 出前授業月間
- ・ 2月23日（土）
ECOまちネットワーク・よどがわの総会で「自分電気作り」の報告
- ・ 3月9日（土）
さよなら原発3.11メモリアルで展示
「自分電気の紹介」

特定非営利活動法人・豊中市民エネルギーの会
連絡先 560-0034 豊中市蛭池南町3-2-11-105
電話 06-6843-3568（FAX兼）
メール masumi-e@hotmail.co.jp
ホームページ <http://toyonaka-energy.net/>
郵便振替 口座記号番号 00920-2-332550
加入者名 豊中市民エネルギーの会

